



佐藤 守正

## 「町民の行政参加」についての町長の考え方を問う

### 質問

町長は今回の町長選挙では「町民の行政参加」に関わることはまったく語らなかつた。前回の選挙ではそれを強調していたのになぜ変わったのか。

### 町長答弁

そういうことは全部忘れていたので言わなかつたわけではない。町民参加条例を二期目のできるだけ早い時期に決めたい。

### 質問

町民の意を問いつながら行政を進めるといふ姿勢が希薄になった表れが、この度の小学校、保育園統合だ。住民説明会ですでに決まった

ということを住民に伝えるという姿勢で説明を行っている。住民は町長に白紙委任状を手渡しているのではない。政策を決める前に情報提供を充分にやって、町民の要望をしっかりと聞いたうえで政策決定をすべきである。

### 町長答弁

今言われたことを真剣に考えて取り組んで行きたい。

## 小中一貫教育を進めることへの住民合意形成の手續きについて教育長に問う

### 質問

統合された学校で小中一貫教育を行うことはすでに決定していることなのか。

### 教育長答弁

決定は町長の判断で行う

ことであり、まだその判断は下されていない。

### 質問

住民は一貫教育とは何かについてまだ充分には知らされていない。この先どのような手で住民への説明を行い、納得と承諾を得ていくつもりなのか。

### 教育長答弁

P T A から招かれればどこへでも行って説明するし、町民には学識経験者を招いての説明会を実施したり、文教施設整備委員会での検討内容を詳細に情報提供すること、より具体的なメリットなどを知らせて行きたい。

### 質問

小中一貫校にどんなデメリットが想定できるのか、以下思いつくまま列挙する。

1、六年生が児童会という自治を経験したり、リーダーとして活躍し成長する機会が奪われる。

2、六年生の中学校へのデビューがぐんと成長する機会になるのだが、小中一貫校ではその機会が無くなる。

3、一年生から四年生の九割もの児童がバス通学になることの異常。

4、地域社会の学校への支援がやりにくくなり、子どもの育ちの空間が狭められる。

5、中学生など大きい生徒のクラスが荒れたときの小さい子への対処が難しい。

6、遠方からのバス通学の児童に大きな負担をかけることになる。

小中一貫校のメリットもたくさんあるだろう。しかしそれは期待でしかない。今列挙したデメリットの方がずっと現実のものとして想定できる。そういうときにどのようにして合意を作っていくか、すごく難しいと思う。

### 教育長答弁

教育についての考え方はさまざまある。今議員が指摘したことは、県の義務教育

課の専門家、新潟県の教育のトップである生田先生などの専門的な見地からの検討を頂く中で考えたい。湯沢町の現状を見れば、長い将来の中ではメリットの方が大きいと私は思う。

### 質問

小中一貫教育については、試行的に徐々に試みながら、無理があつたら引き返せるだけの条件は残しておいた方がいいのではないか。そのため新築する校舎は小中一体型にはしないで、中学校とは同一敷地内ではあつても統合小学校を別棟として建てるということも選択肢に入れてほしい。

### 教育長答弁

決断を迫られる内容が教育長の身分にはあまりに重たすぎるので、町長の決断を受けて町民に丁寧に説明し、町民によかつたと言われるような良い学校を作っていく。

## 学校統合・小中一貫教育の実施は慎重に

一般

質問

質問